

目標達成計画

作成日: 平成23年 4月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	定期的な家族会の開催など交流や発言の場を設けてはいるが、家族だけで話が持てる場となっていない。	家族会の場が家族にとって交流の場となり、悩み事や意見が述べやすい場所となる。	①職員が橋渡しとなる。 ②家族からの意見が出やすいよう、事業所主体で話を進めず、家族に会の進行を依頼してみる。 ③入居者と家族のつながりを断ち切らないよう、認知症や介護保険についての勉強会を行い理解を深めてもらう。	6ヶ月
2	11	事業所で出た意見については全職員で話し合いを持ち、入居者第一に前向きな検討はされているが、自己評価については全職員の意義共有が出来ていない。	外部評価の意味を理解し、全職員で意義共有ができる。	①より良いサービスの提供が行えるよう、外部評価の項目を意識しサービス提供を行う。 ②地元出身の職員が多く、地域住民としての役割についても意識付けを行う。	6ヶ月
3	35	災害時、地域を巻き込んだ協力体制の確保が難しい。	地域の協力を受け、災害時における入居者の避難場所や安全の確保ができる。	①災害時、避難場所の確保ができるよう、運営推進会議の機会を利用し公的な機関へ発信する。 ②消防分団など地域資源を活用する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。